

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 浜松デザインカレッジ
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (文化・教養)	グラフィックデザイン科	夜・通信	1,530	240	
専門課程 (服飾・家政)	ファッション流通科	夜・通信	1,120	160	
	メイク・ブライダル科	夜・通信	1,410	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 浜松デザインカレッジ
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人静岡理工科大学のホームページ (http://www.sist-net.ac.jp) にて公開中の事業報告書に記載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	平成29年10月1日～ 令和元年9月30日	学校法人運営についての意見 財務担当
非常勤	株式会社役員	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日	学校法人運営についての意見 情報 IR 担当
(備考) 学外者である理事は上記の2名を含め合計8名。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 浜松デザインカレッジ
設置者名	学校法人静岡理工科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>本校は、卒業認定・専門士授与の方針(ディプロマポリシー)を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。</p> <p>さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴取する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>各学科の定めるディプロマポリシー(卒業認定・高度専門士/専門士授与の方針)に掲げる資質・能力の修得状況等は、カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)の「成績評価の方法」に掲げる方法に加え、学生生活上の客観的な指標、卒業対象学生に行うアンケート調査の状況、各種資格取得状況・制作した作品のレベルと志望進路状況(専門領域への就職率及び進学率等)から学修成果の達成状況を評価する。</p>	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0~100点)による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80~100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70~79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60~69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0~59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、学校教育法に従い、デザイン、ファッション、ビューティーの業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成すること」が教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有していることとする。

- 専門分野の職業人としての基本的技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 職業人としての基礎力、判断力、キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 浜松デザインカレッジ
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan01_02-H30.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan01_03-H30.pdf
財産目録	http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan01_01-H30.pdf
事業報告書	http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan02_01-H30.pdf
監事による監査報告（書）	http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan03_02-H30.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	グラフィックデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,060 単位時間/単位	150 単位時間 /単位	2,910 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,060 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		85人	0人	3人	22人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。

さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴取する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。

成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = ((4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数)) ÷ 科目数

卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、学校教育法に従い、デザイン、ファッション、ビューティーの業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成すること」が教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有していることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野の職業人としての基本的技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●職業人としての基礎力、判断力、キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>小テストや課題進捗チェックを実施し、段階的に学生の理解度を把握している。また、個別相談には常に応じ、放課後や長期休暇等の時間を用いて個別フォローを実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	16人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) (有)学遊社、(株)アプライズ、(株)ステーブループ、遠州紙工業(株)、(株)エムロード、(株)ARTRING、(株)クレオ、(株)しるく印刷社 等			
(就職指導内容) 就職担当と各学科担当が綿密に連携をとり、求人開拓、情報収集、学生指導等を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) AFT 色彩能力検定 80%、日本語ワープロ検定 84%、情報処理技能検定(表計算)87%、ビジネス実務マナー検定 68%Illustrator クリエイター能力認定試験 90%、Photoshop クリエイター能力認定試験 63% ・静岡新聞広告賞（静岡新聞社）グランプリ、審査員特別賞 ・ユニバーサルデザインコンテスト（県印刷組合）最優秀賞、特別賞 ・若年者ものづくり競技大会静岡県大会（県経済産業部就業支援局職業能力開発課）優勝			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
74人	2人	2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神的健康事由		

(中退防止・中退者支援のための取組)
日々のHRでの状況確認、個人的な細やかなケアを行う。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッション流通科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間/単位	330 単位時間 /単位	1,710 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
		2,040 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		20人	人	2人	9人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)			
(概要) 卒業認定・専門士授与の方針 (ディプロマポリシー) を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。 さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴収する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。			
成績評価の基準・方法			
(概要) 成績表は、科目ごと4段階評語 (優・良・可・不可)、素点 (0~100点) による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80~100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70~79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60~69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0~59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数 = (4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数) ÷ 科目数			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、学校教育法に従い、デザイン、ファッション、ビューティーの業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成すること」が教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有していることとする。 ● 専門分野の職業人としての基本的技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ● 職業人としての基礎力、判断力、キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ● 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることことができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			

<p>(概要)</p> <p>小テストや課題進捗チェックを実施し、段階的に学生の理解度を把握している。また、個別相談には常に応じ、放課後や長期休暇等の時間を用いて個別フォローを実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	4人 (50%)	4人 (50%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>(株)アダストリア、(株)インデペンデント、(株)ワールドストアパートナーズ、(株)コーエン、(株)コズミック</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>就職指導担当と学科担当の両面から、学生個別に指導を行う。 就職希望者に含まれない者は、希望する会社に正社員採用枠が無いが非正規であるとしても勤務をしたいという本人の強い希望があったため、学校の就職あっせんを受けない者として希望者から外してサポートを行っている。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>サービス接客検定3級100%、色彩技能パーソナルカラー検定モジュールⅡ75% A・F・T色彩検定3級100%、日本語ワープロ検定100% ファッションビジネス能力検定3級100%、サービス接客検定2級50% 色彩技能パーソナルカラー検定モジュールⅠ100%、MOS2016PowerPoint71% 情報処理技能検定86%、販売士検定86%</p>			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	1人	6%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、精神的健康事由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>日々のHRでの状況確認、個人的な細やかなケアを行う。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	専門課程	メイク・ブライダル科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間/単位	900 単位時間 /単位	1,140 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
		2,040 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	33人	0人	2人	21人	23人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要)
卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。
さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴取する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。

成績評価の基準・方法

(概要)
成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。

成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数= (4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数) ÷ 科目数

卒業・進級の認定基準

(概要)
本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、学校教育法に従い、デザイン、ファッション、ビューティーの業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成すること」が教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有していることとする。

- 専門分野の職業人としての基本的技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 職業人としての基礎力、判断力、キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることのできる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

(概要)
小テストや課題進捗チェックを実施し、段階的に学生の理解度を把握している。また、個別相談には常に応じ、放課後や長期休暇等の時間を用いて個別フォローを実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	11人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)
株式会社 オサレカンパニー、日本ロレアル株式会社、Atelier by Puche、株式会社フリーゾーン、株式会社ジョイフルまるやま、イプサ株式会社、アルファクラブ静岡、株式会社美通広告社、MPP KOMATSU 株式会社、株式会社 FTJ

<p>(就職指導内容)</p> <p>就職指導担当と学科担当の両面から、学生個別に指導を行う。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>日本メイクアップ技術検定試験 3 級 100%</p> <p>色彩技能パーソナルカラー検定モジュール I 91%</p> <p>色彩技能パーソナルカラー検定モジュール II 90%、ネイリスト技能検定 3 級 90%</p> <p>日本語ワープロ検定 89%、AWP 検定 3 級 70%、サービス接客検定 3 級 70%</p> <p>サービス接客検定 2 級 60%、日本化粧品検定 3 級 100%</p> <p>日本メイクアップ技術検定 2 級 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日本メイク選手権ファイナリスト ・H&Mフォトコンテストプリシラ賞受賞
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	4 人	16%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、精神的健康事由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>毎日のHRでの状況確認、個人的な細やかなケアを行う。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッションビジネス科	220,000 円	890,000 円	円	
ファッションデザイン科	220,000 円	890,000 円	円	
ブライダル・ビューティー科	220,000 円	890,000 円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
本校では人物、学力に優れ、他の模範となるであろうと認められる者に対し、学費を優遇する特待生制度がある。本校の行う特待生入試の試験結果に基づき特待生・準特待生 A・準特待生 B・準特待生 C を認定する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.design-hamamatsu.jp/evaluation_report/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として実施している。 ・主な評価項目 (1)教育理念・目標 (2)教育活動 (3)教育成果 (4)学生支援 (5)教育環境 (6)学生の募集と受入れ(7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守 (8)社会貢献・地域貢献、国際交流 ・評価委員会の構成 定員：6名 (企業：3名 卒業生：1名 保護者：1名 地域住民：1名) ・評価結果の活用方法 評価結果について、校長(責任者)を中心とした運営委員会で改善方策を検討し、可能な範囲で可能な限り早期に改善を実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
専門学校 浜松デザインカレッジ 後援会会長	令和元年5月22日～ 令和2年5月31日	保護者
専門学校 浜松デザインカレッジ 同窓会会長	令和元年5月22日～ 令和2年5月31日	卒業生
株式会社旭ビジョン 専務取締役	令和元年5月22日～ 令和2年5月31日	企業
遠州織物工業協同組合 事務局長	令和元年5月22日～ 令和2年5月31日	企業
株式会社呉竹荘 婚礼課マネージャー	令和元年5月22日～ 令和2年5月31日	企業
松江町自治会	令和元年5月22日～ 令和2年5月31日	地域住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.design-hamamatsu.jp/evaluation_report/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.design-hamamatsu.jp>